

令和5年度 第9回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和5年8月17日（木）14:30～15:20

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：7名

有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)、井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター診療情報管理士)、埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授)、東尚弘(東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授)、平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、

欠 席：2名

天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)

伊藤ゆり(大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室室長准教授)

陪 席：1名

西佐和子(琉大病院がんセンター事務)

【報告事項】

1. 令和5年度 第8回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料1に基づき令和5年度第8回ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

2. 県のスケジュールについて

増田部会長より、資料2に基づき県のスケジュールについて説明があった。

3. その他

特になし。

【協議事項】

1. 県知事へ提出する書類の確認について

増田部会長より、資料3に基づき県知事へ提出する鏡文について説明があった。

2. 沖縄県がん計画（協議会案）のロジックモデル最終案について

増田部会長より、資料4に基づき沖縄県がん計画（協議会案）のロジックモデルについて説明があった。続いて、増田部会長より、部会としての今後の活動計画について意見を求めた。

埴岡委員より、ロジックモデルに基づいて医療提供者アンケート項目を考えて審議してはどうかと意見があった。増田部会長より、がん計画を優先するため、医療者調査を次年度にまわすという話になってしまっていたので、今年度中には医療者調査ができるようにしたいとのことだった。

増田部会長より、沖縄県の院内がん登録をしている 18 施設全体に患者体験調査に参加していただきたいと意見があった。埴岡委員より、前回の患者体験調査に沖縄県も参加したが、結果が公開されなかったため、活用されずに終わっている。必要であれば事前調整をして、利用の道筋までつけていただくとよいのではないかと意見があった。

井岡委員より、部会としてモニタリングの役割を果たされていかれたらどうかと意見があった。まずは指標に数値を入れて更新していく。データがない分については、これからどうやって数値を得ていくか議論する。県のロジックモデルに詳しいと思うので、それぞれ県のロジックモデルを保管するという位置づけで県に認識してもらうようアプローチしつつ、県計画にも書かれている指標にマーキングして識別できるようにし、部会のロジックモデルを更新していく作業をしてはどうかとのことだった。

埴岡委員より、井岡委員の意見に賛同があった。沖縄県がん診療連携協議会運営サイト「うちな〜がんネットがんじゅう」に特設サイトを作り、増田先生がはかりかけている指標入りのロジックモデルが 3 か月に 1 回ずつ更新されると結局、県の担当者にも見てもらえるので、実質上それが井岡先生の言われたモニタリングシステムのデファクトスタンダードになるとのことだった。

井岡委員より、以前タウンミーティングをされていたと思うが、県民の方を集めてロジックモデル協議会案の説明をする等、県民の方に見ていただくのもよいのではないかと意見があった。埴岡委員より、ロジックモデルを作って終わりではなく、タウンミーティングを開いて県民の声、患者さんの意見がロジックモデルの施策にあるかを確認して、ない場合は施策や指標を追加することはすごく大事なことであるとコメントがあった。

3. 今後のスケジュール協議

増田部会長より、ベンチマーク部会は毎月 1 回開催し、今後は曜日と時間を固定したいと提案があった。

4. その他

特になし。